

秋の全国火災予防運動

11月9日～11月15日(奥出雲町11月3日～11月9日)



全国統一防火標語

「消すまでは 心の警報 ONのまま」

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とするものです。

住宅防火 いのちを守る7つのポイント

—3つの習慣・4つの対策—

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



水難救助用資機材が寄贈されました。

加茂町猪尾に出雲工場をおく、日本コルマー株式会社(神崎友次社長、本社大阪市)から、社会貢献活動の一環として、安全・安心な地域づくりを推進するため、消防本部へゴムボート・船外機等の水難救助用資機材が寄贈されました。10月2日(水)消防本部において、影山喜文副管理者から日本コルマー株式会社神崎茂会長に感謝状を贈りました。



贈呈式の様子



寄贈された水難救助用資機材



第26回 少年消防クラブ員研修会



第26回少年消防クラブ員研修会を、一般社団法人島根県消防設備協会の共催により、7月25日（木）に開催しました。研修には管内13クラブ、96名の参加者がありました。

研修では、消火栓を使用しての放水体験、起震車による地震体験、庁舎・車両の見学を行いました。

午後からは出雲空港消防隊、島根県防災航空隊の見学に行き、活動用資器材や航空隊員の訓練を見学しました。クラブ員は普段扱うことのない消火栓や訓練の見学等の貴重な体

験をしました。

この研修を通じ、災害の恐ろしさ、命の大切さ、友達のすばらしさ等を学び、防火・防災の意識付けができ、また、消防車両や消防業務の内容を詳しく学習し、クラブ員と消防職員との交流を図る事で、消防への理解や関心を持つことができました。

～少年消防クラブ員のことば～

三刀屋小学校 6年 ^{なんば まお} 難波 真央さん



僕は、消防署を見学してみ、地震や火事の怖さを知りました。地震体験では、対処法などを教えてもらいました。地震体験ができてよかったです。また、たくさんのクラブ員と友達となり、一緒に作ったカレーはおいしかったです。少年消防クラブ員研修に参加して色々なことを学べ、よかったです。

西小学校 6年 ^{いた なるみ} 井田 成美さん



今回の少年消防クラブ員研修で印象に残ったことは、消火器の使い方です。もし火事を発見したら消火器で消せる自信があります。それは、消防士さん達が防火・防災のことを一生懸命教えて下さったからです。来年は中学生になりますが、機会があればまた、消火訓練などに参加したいです。

平成25年度 島根県消防表彰受賞

今年度、下記の3団体が日頃の積極的な防火・防災活動を認められ、島根県消防表彰を受賞され、9月5日（木）島根県庁知事室において、前側婦人防火クラブ（島由美子会長）が県内の女性防火クラブの代表として受領をされました。



【幼年消防クラブ表彰】

来島保育所幼年消防クラブ（飯南町）

【少年消防クラブ表彰】

阿用小学校少年消防クラブ（大東町）

【女性防火クラブ表彰】

前側婦人防火クラブ（木次町）